



本郷文化フォーラム
ワーカーズスクール

2023年度前期講座 5月9日(火)～9月23日(土)

平日 PM6:45～9:00

土曜 PM1:00～3:30

●2023年度前期開講講座 5月9日(火) 憲法と沖縄とウクライナ
——いまこそ「政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起こることのないやうにすることを決意し」、行動するとき

講師＝高良鉄美（参議院議員・会派「沖縄の風」）

●5月13日(土) 『日本文学の扉をひらく 第三の扉
戦争とたたかった人たちの物語』を読む
——著者の立野正裕さんを囲んでの報告と討論

報告＝伊藤龍哉（HOWS受講生）

＝山本恵美子（HOWS受講生）

●5月17日(水) 共和制発布100周年を迎えるトルコ
——東西文明の交わる歴史と文化、そして大地震の状況をきく

講師＝イナン・オネル（翻訳家・映像家）

●5月20日(土) オリジン労働者50数年の闘いの記録
——その成果と後輩に伝えたいこと

講師＝二瓶久勝（元オリジン労働組合委員長・元国鉄闘争共闘会議議長）

●5月24日(水) 活かせ！ 日本国憲法 阻もう！
「戦争できる国」から「戦争する国」への質的転換
講師＝萩尾健太（弁護士）



●最寄りの交通機関
・都営大江戸線「本郷三丁目」駅⑥番出口 徒歩4分。
・東京メトロ丸の内線「本郷三丁目」駅②番出口 徒歩5分。

HOWSで学ぼう

抵抗と変革を志すひとびとへ

●真の「未来志向、外交のために何をなすべきか？」

今年3月6日、韓国の尹錫悦政権は、「元徴用工問題」の第三者弁済方式での解決案を発表しました。岸田政権は嬉々として対韓シャトル外交を再開し、G7に韓国を招待するという「厚遇」で応えました。日本のマスコミは、岸田首相の「笑顔のオムライス外交」の成果だと囃して、日韓関係の改善の「呼び水に」との在日韓国人の会社経営者の発言を大々的に取りあげ、「韓国が元徴用工問題を蒸し返すことがないよう」（『読売』3月7日社説）にと注文をつけました。

しかし、そもそも「元徴用工問題」は日本帝国主義が残した負の遺産であり、解決すべき責任主体は日本であるはずなのに、あたかも問題の所在が韓国（世論）にあるかのごときの、日本政府の倒錯した無責任な振る舞いを見るにつけても、わたしたちは尹政権の「解決策」を容認できません。岸田政権は歴代内閣が示してきた「反省とおわび」を表明するとしていますが、かつての安倍談話や日本軍「慰安婦」問題日韓合意のおざなりな対応をみても、心からの謝罪と補償を行ない再発防止策を講じるという、真の意味での解決からは程遠いものになることは明らかです。

さらに、「解決済み」と強弁する根拠となっている1965年の日韓請求権協定は日本の政府独占と韓国の軍事独裁政権との間で、韓国の労働者人民のあずかり知らぬところで結ばれた稀代の「悪法」です。「悪法も法」に執着するリベラリズムでは、この協定の存在を乗り越え、「元徴用工問題」の解決のために必要な、労働者人民の交流を形成するには限界があります。いまほど、「労働者人民にとって何が真であり益であるか」との階級的な立場で、反人民的なこの協定を失効させ、真に人民的な日韓関係を築くことが求められるときはありません。わたしたち労働者人民は労働組合を中心に、職場での組織的な団結と闘いを貫くなかで、労働者人民どうしの国



2023国際婦人デー東京集会

境を超えた連帯を結び、「元徴用工問題」の根にある日本帝国主義や植民地主義を克服し、労働者人民が主人公となる世界を創り出しましょう。

●日本の戦争国家化を阻止し、国際連帯を深めよう！

今期のHOWSは、「労働者のたたかいが未来をつくる」との精神のもと、日朝・日韓連帯のあり方を模索し、戦争国家化の最前線の沖縄の現状を知り、第三世界（非同盟運動）の精神を引き継ぎ、日本の軍事大国化を阻止する手立てを考える講座などを開催します。イランとサウジアラビアの国交正常化を仲介した中国の動向に注目が集まるなか、戦争状態が続くウクライナ—ロシア間を仲裁する役割を期待されるなど、全世界で中国の平和外交に関心が寄せられています。しかし、日本はいまだ「台湾有事」の反中国キャンペーンのもと戦争国家に突き進んでいます。講座に参加して、この混迷する現代の日本・世界をどう変えたらよいかを考え、労働現場や政治参加、そして文化・芸術活動の場面での実践に活かしていきます。

●HOWSとは？

2000年に開講したHOWSは、さまざまなテーマをつうじて、わたしたちがいかに変革の担い手になりえるのかを追求してきました。講座に参加する全員で、この社会を根底から変革する思想と文化の創造、その方法をも探求する場の創造をめざしています。「講師＝教える人」、「受講生＝教えられる人」ではなく、ともに討論してゆく場です。1回の講座で問題がすべて解決でき、解答が得られるわけではありません。また毎回の講座を通じて、新たな疑問や課題が見つかることもあります。問題を多角的、継続的に考えることができるのも、HOWS講座の魅力です。あなたもHOWS講座に参加して、この社会を複合的に観る目を培いましょう！